



Once

— 第肆ロジック —

第肆ロジックの概要

Force『第肆ロジック』では、バイナリーでも応用の効くようなファンダメンタル要素とFXの知識をフルに活用したトレード手法を「5つ」厳選して紹介していきます。

厳選手法「5選」

■ 壱 仲値トレード

■ 弐 仲値トレード(サブ)

■ 参 東京時間限定トレード

■ 肆 東京時間限定トレード(サブ)

■ 伍 経済指標発表時トレード



仲値トレード

1. 五十日（ゴト一日）とは

ゴト一日とは、5日、10日、15日、20日、25日、月末日（30日ではなく、28日や31日の時もあるので注意）の事です。

ゴト一日が、土日や祝日と重なった場合は、その前営業日（基本的に平日）が「実質的なゴト一日」ということになります。

例えば、5日が土曜日なら、4日の金曜日がゴト一日になります。

次に、仲値とは、銀行などの金融機関が午前9時55分のレートを元に銀行が午前10時に窓口に公示するレートのことです。

毎秒動く為替レートを、取引のたびに銀行に問い合わせてはとても大変なので、どこかのタイミングでその日の取引レートを決めてしまおうということでこの仲値という制度ができたようです。

このトレードは、仲値不足という現象を利用します。結論からいうと、仲値に向けてドルが買われます。

つまり、仲値（9:55）に向けてドル高円安の状態になっていく傾向があります。（要するに、ドル円はチャート上、右肩上がりになりやすいという事です。）

ハイローで言うと、highになっていく傾向があるという事です。）
これをうまく利用します。



壹 仲値トレード

2. トレード手法

- 通貨ペア USD/JPY
- 判定時間 15分ハイロー
- 取引時間 9:40(注文)→9:55(決済)
- エントリー方向 Highエントリーのみ

通貨ペアは、ドル/円になります。

バイナリーオプション（ハイローオーストラリア）に当てはめて考えると、15分ハイローで9:40開始9:55終了のものに9時40分にhighでエントリーします。

（ハイローオーストラリアの性質上、9時40分ジャストには賭ける事が出来ず、9時40分20秒くらいから賭けるようになりますので、賭けるようになったらすぐに賭けるのがベストです。）

エントリー完了したら、あとは結果を待つだけです。

9:40にエントリーした後ですが、時間のある方は、値動きを見守りましょう。

9:45、9:50、9:54と9:40より下がっていくようならさらにhighでのエントリーチャンスになります。

この場合は、ナンピンしてもOK、賭ける額は倍でもOKです。また、負ける日も当然あるので、ここで熱くなってエントリーし過ぎないようにしましょう。

もし分けてエントリーする場合は、事前にいくらまで賭けて良いのか最初から確認しておきましょう。

パターン1

9:40のみ1度でエントリー、残り資金は10万円

→5000円でエントリー

パターン2

9:40がメインでもし下がったら9:45、9:50でエントリー、残り資金は10万円

→9:40に3000円でエントリー、9:45、9:50で下がってたら1000円ずつエントリー（上がってる場合は、最初の3000円のみ）

パターン3

9:40に1000円でエントリー→下がったら9:45で2000円→下がったら9:50で3000円エントリー

このようなイメージが良いかと思います (^^)



仲値トレード

3. +αでさらに勝率アップ

こちらは、+αの情報になります。

メインのゴト一日仲値トレードについてをさらに解析して優位性を発見しました。

原則としては、5,10,15,20,25,月末日と1ヶ月で6回エントリーチャンスがあるのですが、曜日別に注目して検証したところ、なんと金曜日にぶち当たったゴト一日だけがさらに優位性がありました。

理由としては、週末の休み前なのでそもそもドルの実需が平日よりもあるのに、さらにゴト一日という事でパワーアップしているからだと推測しております。

また、もう一つ優位性を発見致しました。

それは、月初より月末の方が仲値トレードが有効だという事です。

[5.10.15]と[20.25.月末日]に分けてデータを取ったところ、[20.25.月末日]に優位性がありました。

理由としては、月末にかけての方がより給料日などが集中しているため、ドルの実需がさらに多くなる傾向があるためだと推測しております。

ゴト一日仲値トレード

通常→期待度☆☆☆

金曜→期待度☆☆☆☆☆

月末（20.25.月末日）→期待度☆☆☆☆☆

金曜+月末→期待度☆☆☆☆☆☆

という感じになります。

資金配分を変えると良いでしょう。

例)

通常→1万円

金曜のみ→3万円

月末→2万円

金曜+月末→4万円

などという感じです。

かなり美味しいポイントなので、必ず覚えておくようにしましょう。



仲値トレード（サブ）

メイントレード手法と併用

- 通貨ペア USD/JPY
- 判定時間 15分ハイロー
- 取引時間 9:55(注文)→10:10(決済)
- エントリー方向 Lowエントリーのみ

メイン手法が、ゴト一日の仲値に向けて、ドル買いに乗っかりhighでエントリーすることでしたが、こちらで紹介する手法は、9:55がドル買いのピーク（天井）だと仮定して、ゴト一日の9:55からは、Lowでエントリーするというサブ手法になります。こちらも優位性があります。

同じく通貨ペアはドル/円です。

9:55~10:10の15分ハイローに、9:55ジャストからローエントリーしたいのですが、ハイロー オーストラリアの性質上、9:55ジャストには賭ける事が出来ない仕様になっております。

なので、9:55ジャストを狙ってLowエントリーした方が良いので、9:50~10:05の15分ハイローで9:55ジャスト（1秒早いくらいでちょうど良い）でLowエントリーします。

あとは結果を待つだけです。

ここからは補足となります。

9:55をあくまでピーク（天井）と仮定しているので、9:55でドル高円安にならない場合（メイン手法で負けた場合）は、効果が薄いように感じます。

その場合は、見送るのも一つの手です。

無理にでも9:55に高値をつけてきた場合はかなり有効に感じます。

また、応用編として、30秒~1分ハイローで、9:55ジャスト（1秒前くらいの方が良い）でLowエントリーも優位性があるように感じます。



東京時間限定トレード

1. 東京時間（9時～15時）の性質とは

FXやバイナリーをやっている方は、聞いた事があるかもしれません。

東京時間（日中）は「レンジ」になりやすく、
ロンドン時間（夕方）やニューヨーク時間（夜）はトレンドが発生しやすいと一般的に言われております。

また、バイナリーのトレードの考え方をご存知でしょうか？

こちらは色々な考え方があるかもしれません、一般的にも言われていて私自身も肌で感じている法則として、

FXは、「順張り」

バイナリーは、「逆張り」が基本と明言されています。

そこで私が編み出したのが、東京時間のレンジになる性質を利用した逆張りエントリーになります。



東京時間限定トレード

2. トレード手法

- 通貨ペア USD/JPY
- 判定時間 1時間ハイロー
- 取引時間(1) 12:00(注文)→13:00(決済)
- 取引時間(2) 13:00(注文)→14:00(決済)
- 取引時間(3) 14:00(注文)→15:00(決済)
- エントリー方向 High/Lowエントリー

通貨ペアはドル/円になります。

9時～14時までの1時間足を確認して、3本連続で同じ方向（3連続陰線or3連続陽線）に動いたら逆張りでエントリーになります。
エントリーパターンをお伝えします。

- ・9時、10時、11時の1時間足が全て同じ方向の場合、12時からの1時間バイナリーで逆方向へエントリー
- ・10時、11時、12時の1時間足が全て同じ方向の場合、13時からの1時間バイナリーで逆方向へエントリー
- ・11時、12時、13時の1時間足が全て同じ方向の場合、14時からの1時間バイナリーで逆方向へエントリー

この3パターンになります。

12時にスマホをチェックして、9時10時11時と3連続陰線or3連続陽線の場合は、すぐにその逆でエントリーします。

そうでない場合は、状況を見て13時と14時にスマホをチェックします。

*12時の時点で、2連続陰線or2連続陽線すらも出来てない場合は、13時のチェックが不要です。（13時では確実に3連続陽線or陰線にはならないため。）

3連続で同じ方向に動いた後に、逆方向でのエントリーになります。

短期的な利益を追求する場合は流れや運に左右される場合が多いですが、年間通して、長い目で見て判断して貰えると自信ありますので、是非検証してみて下さい。



東京時間限定トレード（サブ）

メイントレード手法と併用

- 通貨ペア USD/JPY
- 判定時間 1時間ハイロー
- 取引時間 11:00(注文)→12:00(決済)
- エントリー方向 High/Lowエントリー

サブになりましたが、時期によっては、メイン手法と同程度の優位性はありましたので、今後のポテンシャルはある商品になります。

年間にすると、数値は落ちましたので波のある手法かもしれません。

その概要がこちらになります。

「9時」と「10時」の1時間足が同じ方向に動いた場合、11時からの1時間バイナリーに逆エントリーです。

これも東京時間のレンジ+逆張りを利用したトレードですが、なぜ「9時」と「10時」の1時間足に注目するかというと、毎日9:55に仲値が決定するためです。

仲値決定後も同じ方向に伸び続けるという事は、一度、11~12時で休憩を挟む可能性が高いと推測して、検証しました。

少しは優位性ありましたが、今後伸びる可能性もあるので、参考程度にお使い下さい。

こちらの出現頻度も約2日に1回となっておりますので、メインと合わせると平均して1日1回はエントリーチャンスが来るという事ですので、是非検証してみて下さい。

1. 手法の概要

この手法は、

大きく動く経済指標発表時にかなり有効な手法となります。

経済指標の確認には、みんながFXの経済指標カレンダーがおすすめになります。

「みんなが FX 経済指標」 URL : <https://fx.minkabu.jp/indicators>

みんながFXの経済指標カレンダーのアメリカ関係で☆4☆5の指標時に有効になります。

(出来れば、前回変動幅が6~10pips以上動いている指標がオススメ。不慣れな方は、とりあえず☆5のみ推奨)

この手法は、発表時に値幅が大きく動けば動くほどやりやすく、前兆が分かりやすい傾向があります。

逆を言うと、発表してもほとんど値幅に変化なしの指標だと前兆がつかめず、失敗になりやすいです。

前兆がつかめない場合は、見送りを推奨しております。

無駄なトレードで資金を減らすのは避けましょう。

具体的に大きく動く指標を何個か紹介致します。

- ①アメリカ雇用統計(非農業部門雇用者数)&失業率・・・毎月第一金曜日の夜に発表。これが一番重要。
- ②GDP（国内総生産）関係
- ③ISM非製造業景気指数
- ④アメリカ消費者物価指数
- ⑤アメリカ小売売上高

このような感じになります。（他にもいくつかありますが、経済指標カレンダーでご確認下さい。）



経済指標発表時トレード

2. トレード手法

通貨ペアはドル/円です。

値動きが激しいというのを利用して、エントリーは、ハイローターボスプレッドの30秒取引になります。スプレッド分は、余裕で動くのでスプレッド有りで問題ないです。

ペイアウト率2.00倍になります。この時点で勝率51%以上で勝てる仕様となります。

では、どのように賭けていくのか。

結論から言うと、経済指標発表直前1分前からチャートの動きを見て、動いた方向と逆方向に発表まで残り10秒前後でエントリー（発表直前までにはエントリー）します。

21時30分00秒に発表の場合は、21時29分00秒から値動きを見て、動いた方の逆に21時29分50秒付近でのエントリーです。

発表1分前～直前までに上に動いたら下でエントリー、下に動いたら上にエントリー。

経済指標発表前の残り1分前くらいからは、チャートの値幅が結構動き出します。
(結構動き出すとは数分前と比べて激しく動くということ。)

いわゆる大口投資家の投機的な仕掛け（心理戦？ポジション整理？）的なのが始まります。

大きな経済指標発表時のチャートを見ての方は分かると思うのですが、直前（1分前のローソク足）の仕掛けとは逆の方向に大きく動く場合がほとんどです。

仕掛けで数pips動いた方向と逆の方向に発表と同時にズドーンと数十pips動く確率が高いです。そこを利用してエントリーしていきます。

そもそもスプレッド分を関係なしに取引ができる時点で優位性があるのですが、さらにこの投機的な仕掛けを判断する事が出来るので、プラスになるトレードになります。

あくまで直前の60秒前～1秒前までの値動きが上か下か判断つかない（=分からない）場合は、見送りを推奨しておりますので、無理にエントリーするのは避けましょう。（仕掛けがない＝あまり動かない可能性があります。）

P.S 値動きが大事になりますので、出来ればチャートを見ながらエントリーするようにしましょう。

スマホだと1画面しか見れないので、スマホ2台でやるか、PCを利用してチャートを見ながらエントリー出来る環境が望ましいです。